

提出 順番	No. 9	平成29年11月27日 午前・午後 11 時30分
----------	----------	------------------------------

平成29年11月27日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 中 橋 友 子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1、来年度からの小中一貫モデル校事業の実施は更なる検討を。	2015年6月に学校教育法が改正され、2016年度より小中一貫の「義務教育学校」が法制化されました。文科省は学校制度を子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的なものとする中で、制度的な選択肢を広げる必要があるとし、その手法として小中一貫教育を挙げています。しかし、これまでの小学校6年・中学校3年の学制では子供の発達や学習能力を引き出すことができなかつたのか、どこに問題があつたのかは明らかにされていません。小中一貫校はすでに2000年から広島県呉市をはじめ各地で実施されていますが、6・3学制と対比した教育的効果についての検証は多くはありません。一方、学校の統廃合は小中一貫校を取り入れる中で進み出しています。更に文科省は2015年1月に「公立小学校・中学校の適正規模・適性配置等に関する手引」を改正し、新たな統廃合を進めています。小中一貫校の取組が更なる統廃合につながりかねません。幕別町では2016年度より小中一貫教育に関する研究に着手し、2018年4月からモデル校事業を開始する計画になっています。しかし、今年2月に実施した幕別町教育研究所のアンケート調査では保護者や教職員から疑問や不安が複数出されています。よって次の点を伺います。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2、新年度の小学3年からの外国語活動の対応は。</p>	<p>1、なぜ幕別町で小中一貫教育の導入が必要なのか</p> <p>2、アンケートや直接寄せられている疑問や不安の声をどう捉え対応されているのか</p> <p>3、児童・生徒、保護者、教職員、住民の合意はどのように得ていくのか</p> <p>4、教職員や担当職員の多忙化が懸念されるが、対応はどのようにしていくのか</p> <p>5、将来は町内全小中学校で実施と計画されているが、義務教育学校も取り入れようとしているのか</p> <p>6、老朽化している学校施設の改修と併せて考えているのか</p> <p>7、少人数学級の実現や教職員の多忙化の解消こそ急がれる課題である</p> <p>学習指導要領の改訂により、平成30年度より、小学3年生から外国語活動が開始され、5、6年生は教科書を使う正式な教科となり、各学年で週1時間授業が増えます。グローバル化に対応する教育が目的とされていますが、日常的に使用する機会の少ない英語を授業に取り入れることについて、特に英語教育専門家からは早期に取り組む効果は期待できないとの声があります。子供も教員も負担が増え、特に教員は学習指導基本調査(2017年3月)で、75.6%が「自信がない」と答えています。教員の加配など負担解消に向けた対応を伺います。</p>